

(平成26年度医薬分業指導者協議会)

# 薬局・薬剤師を活用した 健康情報拠点事業の事例より ～北海道の立場から～

北海道保健福祉部地域医療推進局医務薬務課  
医務薬務グループ主幹 上山 卓志

## 平成26年度薬局・薬剤師を活用した 健康情報拠点推進事業実施要綱

### 1. 目的

地域の実情に沿ったセルフメディケーションや在宅医療に関するモデル事業を実施し、薬局・薬剤師を活用した健康情報の拠点づくりを推進する。

### 2. 事業実施者

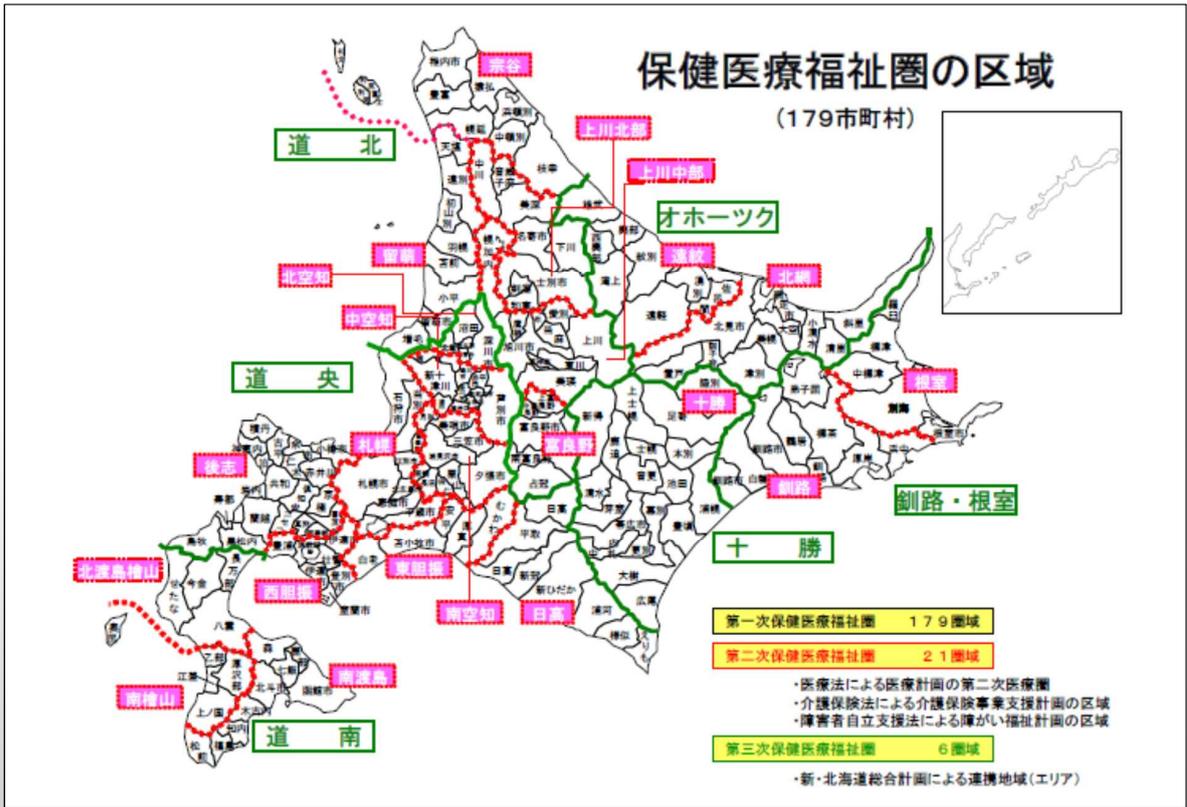
本事業の実施者は都道府県とする。ただし、再委託することができる。  
(北海道 ⇒ 北海道薬剤師会へ委託)

### 3. 事業内容

モデル事業として、地域における先駆的な取組を実施する。

- ① 薬の飲み方や使い方など医薬品の適正使用に関する相談
- ② 飲む残しや飲み忘れ防止等の高齢者・要介護者の服薬管理
- ③ 在宅医療に関するアドバイス
- ④ 介護予防に関するサポート

など



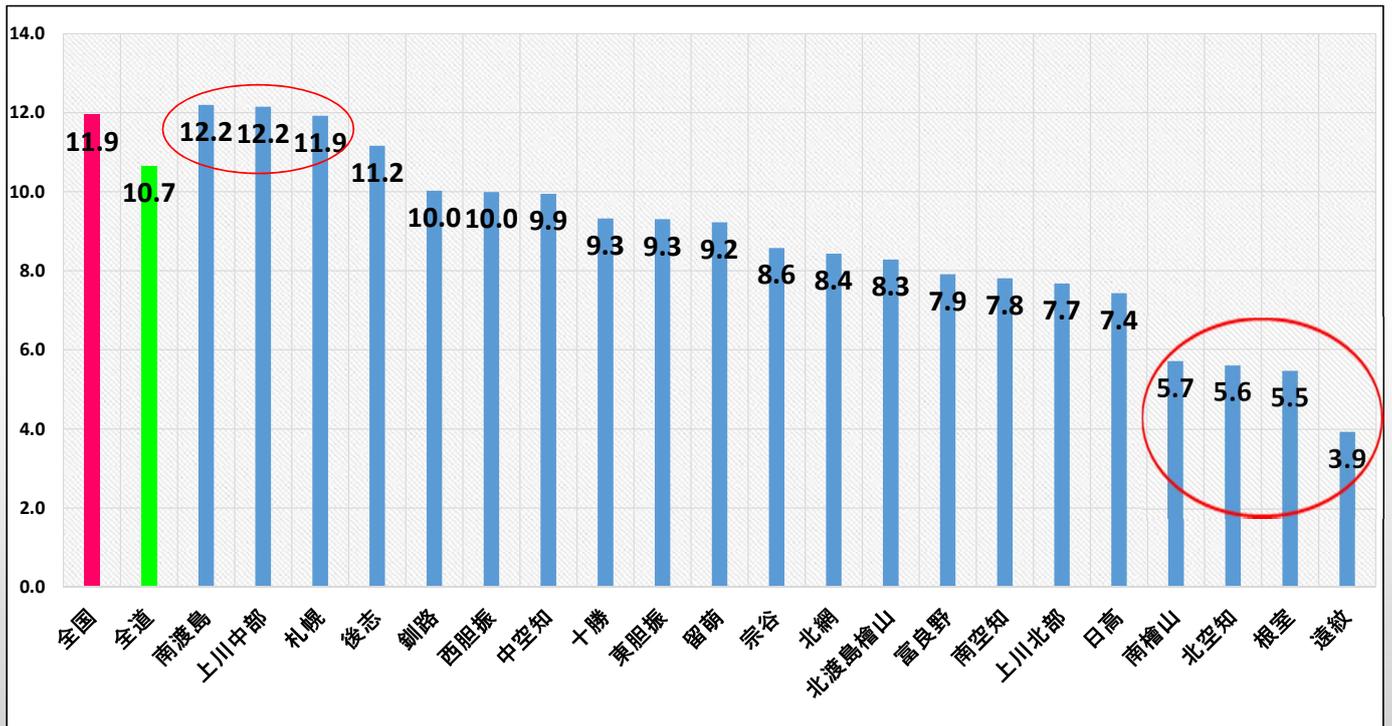
## 二次医療圏別・薬局薬剤師数の状況

(単位：人)

区分	人口	総薬剤師数		薬局の従事者	
		人口1万人あたり	人口1万人あたり	人口1万人あたり	%
全国	128,057,352	280,052	21.9	153,012	11.9 54.6%
北海道	5,506,419	10,585	19.2	5,866	10.7 55.4%
南渡島	402,525	757	18.8	491	12.2 64.9%
南檜山	26,282	24	9.1	15	5.7 62.5%
北渡島檜山	41,058	55	13.4	34	8.3 61.8%
札幌	2,342,338	5,524	23.6	2,792	11.9 50.5%
後志	232,940	484	20.8	260	11.2 53.7%
南空知	181,886	229	12.6	142	7.8 62.0%
中空知	118,662	211	17.8	118	9.9 55.9%
北空知	35,706	41	11.5	20	5.6 48.8%
西胆振	200,231	324	16.2	200	10.0 61.7%
東胆振	216,058	301	13.9	201	9.3 66.8%
日高	75,321	94	12.5	56	7.4 59.6%
上川中部	403,246	852	21.1	490	12.2 57.5%
上川北部	71,630	85	11.9	55	7.7 64.7%
富良野	45,489	53	11.7	36	7.9 67.9%
留萌	53,105	75	14.1	49	9.2 65.3%
宗谷	73,447	91	12.4	63	8.6 69.2%
北網	233,658	316	13.5	197	8.4 62.3%
遠紋	76,351	77	10.1	30	3.9 39.0%
十勝	348,597	531	15.2	325	9.3 61.2%
釧路	247,320	394	15.9	248	10.0 62.9%
根室	80,569	67	8.3	44	5.5 65.7%

(平成24年12月末現在) ※人口は、平成22年10月1日現在の国勢調査による。

## 二次医療圏別・薬局に勤務する薬剤師数(人口1万人対)

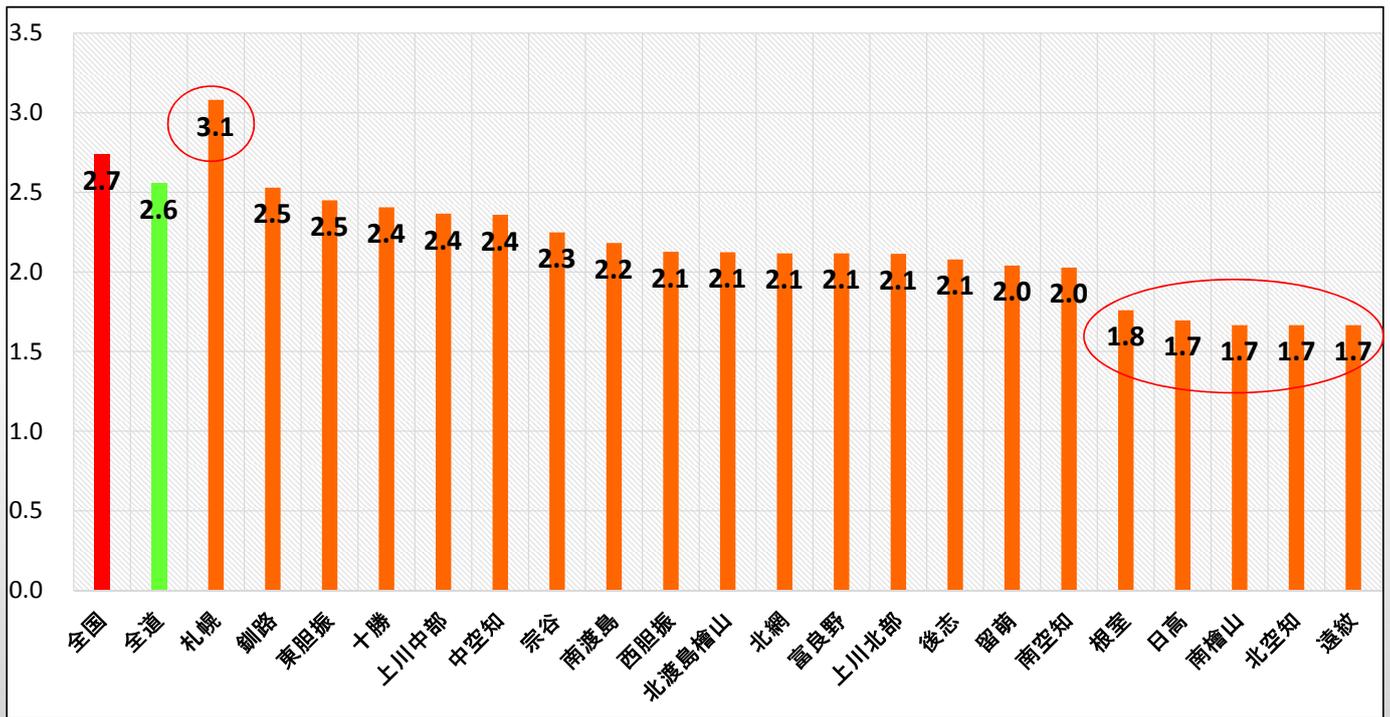


## 二次医療圏別・1薬局あたりの薬剤師数

区分	薬局施設数	薬局薬剤師数	1薬局あたりの薬剤師数
	A	B	B/A
全国	55,797	153,012	2.7
北海道	2,293	5,866	2.6
南渡島	225	491	2.2
南檜山	9	15	1.7
北渡島檜山	16	34	2.1
札幌	906	2,792	3.1
後志	125	260	2.1
南空知	70	142	2.0
中空知	50	118	2.4
北空知	12	20	1.7
西胆振	94	200	2.1
東胆振	82	201	2.5
日高	33	56	1.7
上川中部	207	490	2.4
上川北部	26	55	2.1
富良野	17	36	2.1
留萌	24	49	2.0
宗谷	28	63	2.3
北網	93	197	2.1
遠紋	18	30	1.7
十勝	135	325	2.4
釧路	98	248	2.5
根室	25	44	1.8

※薬局施設数はH25年3月31日現在

## 二次医療圏別・薬局薬剤師数(1薬局あたり)



## 北海道における薬局薬剤師の配置状況

- 薬局薬剤師数は、全道で 5,866名(全体の約55%)。
- 薬局薬剤師の地域偏在が極めて大きい。  
全国平均(11.9名/1万人)を超えているのは、南渡島(函館市)、上川中部(旭川市)、札幌圏のみ。  
遠紋地域は、3.9名/1万人と、全国平均の3割程度。
- 1薬局あたりの薬剤師数も、全国平均(2.7名)を超えているのは札幌圏のみ。  
根室、日高、南檜山、北空知、遠紋地域では、1薬局あたりの薬剤師配置数が、2名を下回っている。

今後の超高齢社会を見据え、特に薬剤師が少ない地域では、すべての薬局薬剤師が地域医療の担い手として、在宅医療に取り組むことが求められる。

# 北海道における薬局薬剤師に関する課題

## 薬局の課題

- 特に薬剤師が不足している地域では、業務が調剤のみに偏り、相談対応を行っていない薬局が多い。(セルフメディケーションを推進するためには、幅広い相談に対応できる薬局を増やす必要がある)
- 相談対応を行っていないため、服薬管理指導が必要な患者の発見が困難。

⇒医師の指示待ちではなく、患者の相談対応から、訪問服薬管理に繋げる取組が必要

## 在宅医療の課題

- 高齢者や認知症患者は、自分で服薬管理することが難しく、病状が悪化する可能性があるため、適切な服薬管理が必要。
- 麻薬や抗がん剤、持続点滴等を使用する患者は、薬剤師による訪問服薬管理指導体制が構築されなければ、在宅医療への移行が困難。

⇒訪問服薬管理指導の実施拡大に繋がる薬剤師のスキルアップが必要

(本道における取組の方向性)

## 北海道健康づくり支援薬局

### ○地域に密着した総合的な健康情報拠点

薬局に来れば、薬剤師から様々な関連情報が入手でき、適切なアドバイスや在宅患者の服薬管理指導が受けられる。



## 目指す薬局の姿

- 1 薬の飲み方や使い方など医薬品の適正使用に関する相談に対応
- 2 在宅医療に関するアドバイス、介護予防に関するサポートを実施
- 3 薬の飲み忘れ防止等の高齢者、要介護者の服薬管理を実践  
(在宅患者訪問服薬管理指導の実施)

# 北海道における事業内容

## 国の委託事業として実施する事業

- ① 幅広い相談に対応できる薬剤師を増やすためのスキルアップ研修会を開催
- ② 在宅患者訪問薬剤管理指導の実施に繋がる実践的な研修会を開催
- ③ 幅広い相談対応や在宅医療に取り組む薬局の活用が促進されるように普及啓発を実施

## 北海道薬剤師会と北海道の事業

- 研修会の受講や健康相談の対応、在宅医療の実践など、**一定の基準**を満たす薬局を「**北海道健康づくり支援薬局**」に認定し、在宅医療の取組拡大を図る。  
(認定基準を策定し、申請に基づき認定証を交付)

※認定基準は、国の基準が示されるまでの暫定的な基準とする。

北海道 健康づくり支援薬局	
認定証	
〇〇〇〇〇〇〇〇〇	薬局
貴薬局を「北海道 健康づくり支援薬局」に認定します。	
認定期間：平成27年3月	日から
平成33年3月	日まで
認定日：平成27年3月	日
北海道保健福祉部長	高田 久
一般社団法人北海道薬剤師会会長	東洋 彰宏